

2008年10月10日

環境経営、CSR、サステイナブル経営に取り組まれている企業・組織  
ご担当各位

### サステイナブル経営格付/診断2008のご案内

特定非営利活動法人 環境経営学会

副会長

木俣 信行

拝啓 爽秋の候、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃より私どもの学会活動へのご理解とご関心をお寄せいただき、誠にありがとうございます。

さて、私ども特定非営利活動法人環境経営学会は、2000年の発足以来、現在に至るまで、企業・組織が環境対応や社会対応を十分に果たしながら発展し続けていくために、いかなる課題に取り組みなければならないかを明確にするために、企業の皆様と共同研究を継続してまいりました。

この一環として、学会では持続可能な社会の構築に貢献する組織経営のあるべき姿を描き、これにそった経営行動を詳細に記述し、「環境経営格付」、「サステナブル経営格付/経営診断」などとして通算6回にわたり、主要な企業の皆様と共同で経営格付/診断活動を実施してまいりました。

こういった活動の成果を基に、このたび、これまでの評価側面、評価項目など経営評価システムを改善し、別添募集要綱のとおり、「サステイナブル経営格付/診断2008」を実施することといたしました。

つきましては、「サステイナブル経営格付/診断2008」の狙いや特徴、実施方法などについて、下記の説明会にて詳しくご説明させていただきますので、ご案内申し上げます。

なお、このご案内は各社のホームページなどからご担当の皆様に送らせていただきますが、担当部署などが変更されている場合は、大変恐縮ですが適切な部署へご転送いただきますよう、お願い申し上げます。

#### ●サステイナブル経営格付/診断2008説明会

- ・日時：第1回目2008年10月24日（金） 各10時00～12時00分  
第2回目2008年10月31日（金） 各10時00～12時00分
- ・会場：会場：東京機械ビル6階会議室（港区芝5-26-24 03-3454-1650）
- ・交通：JR田町駅、都営地下鉄線三田駅下車徒歩2～3分
- ・次第：① サステイナブル経営格付/診断2008の狙いと特徴  
② 格付評価/診断の実施方法  
③ 質疑
- ・参加申込：上記の日程のうち、ご都合の良い日をご指定の上、Eメールにて申し込みください。

e-mail : [smf@smf.gr.jp](mailto:smf@smf.gr.jp)

ホームページ : <http://www.smf.gr.jp>

電話 03-5444-2055、03-5444-0270、ファックス : 03-5444-2056

敬具

2008年10月10日

## サステイナブル経営格付/診断2008（通算第7回） 募集要綱

特定非営利活動法人 環境経営学会  
(Sustainable Management Forum of Japan)  
会長 山本 良一

私ども環境経営学会は2000年の発足以来現在に至るまで、企業・組織が環境対応や社会対応を十分に果たしながら発展し続けていくために、いかなる課題に取り組まなければならないかを明確にするために、日本の第一線の企業と共同研究を継続してまいりました。

新しい時代は企業経営が産業革命以来経験したことのないような試練をすべての経営者に課すものです。それは大気や土壌、水の汚染対策に始まり、現在では省資源、地球温暖化、人権、企業モラルなどきわめて多岐にわたる新しい課題を抱えているだけでなく、企業は社会環境や地球環境を改善、再生し、持続可能な社会の構築のために相応の社会的な貢献を為すことを期待されるに至っております。

このような状況を踏まえ、学会では、企業・組織の経営や環境問題に関心を寄せる研究者、専門家、企業人など産学一体となって、持続可能な社会の構築に貢献する組織経営のあるべき姿を描き、これに沿った経営行動を詳細に記述し、「環境経営格付」、「サステイナブル経営格付」として通算6回、主要な企業、述べ250社の皆様と共同で実施してまいりました。

このたび、これまでの成果を基に改善を行い、「サステイナブル経営格付/診断2008」として実施するべく、現在準備中であります。

特定非営利活動法人（NPO法人）である学会が、研究者、経営者や企業出身者、一般市民、などの広い層からなるボランティアを統合してこのような活動をしている例は他にありません。企業・組織経営に当たられている皆様のご理解とご支援を切に期待する所以であります。

なお、本活動は昨年度に引き続き、独立行政法人環境再生保全機構の地球環境基金助成対象事業として、展開いたします。

このサステイナブル経営格付/診断2008への参加によって企業に提供される学会の知的財産または効用は次の通りです。

- ① サステイナブル経営格付/診断2008 「経営評価調査票」及び「経営評価手引き」
- ② サステイナブル経営研修会への出席（出席者数3名まで）
- ③ エビデンス確認・評価のためのヒアリング/経営トップインタビューを通じての情報交換
- ④ 評価項目別評価結果とサステイナブルマネジメント・ツリー図
- ⑤ 「サステイナブル経営格付/診断2008受診証明書」及び「総合評価書」
- ⑥ サステイナブルマネジメント・ツリー図の学会公式ホームページへの掲載
- ⑦ 環境経営学会研究報告大会での発表、マスメディアへの広報

つきましては、環境経営、CSR経営、サステイナブル経営に取り組まれておられる企業の皆様には、本学会の経営評価「サステイナブル経営格付/診断2008」に是非ご参加いただき、経営診断、経営改善にお役立ていただくようご案内申し上げます。詳細は下記のとおりであります。

## 1. 環境経営学会の格付評価活動の概要

- ① 経営研修会の開催（11月初旬 東京、大阪）：持続可能な社会の構築に貢献するために、企業に求められている環境問題、社会的責任への取組みの方向性、あり方に係わる経営評価システム等について、「手引き」、「調査票」を教材に、2日間の研修会を開催
- ② 経営評価と格付の手順：
  - ・ 参加企業・組織は調査票と手引きにより自己診断し、その結果を学会に提出していただく。
  - ・ 提出された調査票を、学会の経営評価委員により、企業横断的に審査（経営評価）する。
  - ・ 経営評価結果を参考に、第三者として公平な立場でボランティアによる格付評価委員が企業・組織側にヒアリングし、エビデンスを確認する。
  - ・ 格付評価委員の評価結果について、妥当性・公平性・公正性を担保するために、判定委員会で審査して決定。この結果を基に、サステイナブルマネジメント・ツリー図に表現する。
  - ・ 同時に、総合評価書を作成、参加企業に報告する。
- ③ 結果の公表
  - ・ 格付参加企業の取組み状況について広く社会全体に周知するために、原則としてマスメディアに公表し、学会ホームページ上にサステイナブルマネジメント・ツリー図を掲載する。

## 2. 実施の概略スケジュール（予定であり、途中については修正変更の可能性があります）

- 2008年10月初旬：サステイナブル経営格付/診断2008 参加企業募集開始
- 10月中旬：説明会（第1回 10月24日、第2回10月31日を予定）
- 10月末：参加申し込み締め切り
- 11月初旬：経営研修会開催
- 11月中旬～：サステイナブル経営格付診断活動開始
- 2009年1月中旬：自己診断調査票提出締め切り
- 2009年1月中旬～：調査票分析開始
  - 2月初旬～：エビデンスの検証（ヒアリング調査/経営インタビュー）
  - 3月中旬：評価活動終了、判定活動開始、
  - 3月下旬：評価結果の企業への通知/提訴委員会始動
  - 4月中旬：格付結果確定、3点セット（調査票、ツリー図、総合評価書）
  - 5月～6月：学会年次研究発表大会において結果発表（マスメディア）/活動終了

## 3. サステイナブル経営格付/診断2008の実施体制

- ・ 格付評価/診断の主催者：特定非営利活動法人環境経営学会
- ・ 格付評価/診断の実施：同 格付評価/診断タスクフォースチーム（格付評価委員）
- ・ 格付評価/診断の事務局：同 格付推進委員会（03-5444-2055、[smf@smf.gr.jp](mailto:smf@smf.gr.jp)）

## 4. 参加形態と参加費

経営格付評価/診断活動については学会会員を中心としたボランティア活動として進めますが、旅費、通信費、印刷費など活動の原資としての次の参加費を申し受けます。

- ・ タイプⅠ 研修会参加（手引きに基づく自己診断のみ）：参加費5万円
- ・ タイプⅡ 格付/診断参加（研修会参加及び学会による経営評価格付/診断、ツリー図ご報告）：参加費15万円（初参加の場合 参加費20万円）